

平成28年6月30日



広報資料

【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部 総務部

広報・地域連携室長 山本 修

0134-27-0118(内線2111)

海上保安庁にて同時広報

東南アジア海域への巡視船つがるの派遣について

～フィリピン、マレーシアで連携訓練を実施～

海上保安庁は、東南アジア海域等における海賊対策として、同海域の沿岸海上保安機関に対して法執行能力向上支援を実施するとともに、連携・協力関係の構築推進に取り組んでおり、その一環として、来月、巡視船をフィリピン共和国及びマレーシアに派遣します。

海上保安庁では、平成12年以降、毎年東南アジア海域等に巡視船を派遣しております。

今回の派遣では、フィリピン共和国及びマレーシアに寄港し、両国の海上保安機関との間で海賊情勢・対策に関する意見・情報交換を行うとともに、アジア域内の海賊対処のための国際機関であるReCAAP情報共有センターを加えた多機関連携訓練を行う予定です。

フィリピン共和国については、平成27年5月に続き12回目の寄港、マレーシアについては、平成25年9月以来、3年ぶり8回目の寄港になります。

1 派遣概要

(1) 派遣巡視船

第一管区海上保安本部函館海上保安部所属

巡視船つがる（総トン数 3,100トン、ヘリコプター1機搭載）

(2) 寄港国（寄港地）

フィリピン共和国（マニラ港）

マレーシア（コタキナバル港）

(3) 派遣日程

平成27年7月 4日（月）函館出港

11日（月）フィリピン・マニラ入港

13日（水）連携訓練等

15日（金）フィリピン・マニラ出港

17日（日）マレーシア・コタキナバル入港

19日（火）連携訓練等

21日（木）マレーシア・コタキナバル出港

29日（金）函館入港

2 連携訓練

(1) フィリピンにおける連携訓練

日 時：平成28年7月13日(水)

場 所：マニラ港沖

参加機関：海上保安庁、フィリピン沿岸警備隊及びReCAAP情報共有センター

(2) マレーシアにおける連携訓練

日 時：平成28年7月19日(火)

場 所：コタキナバル港沖

参加機関：海上保安庁、マレーシア海上法令執行庁及びReCAAP情報共有センター

3 出港式について

巡視船つがるの出港式を以下のとおり実施します。

日 時：平成28年7月4日(月)午前11時00分から午前11時15分まで

場 所：巡視船つがる係留岸壁(函館港万代埠頭北1号岸壁)

住 所：北海道函館市万代19-6 函館港万代埠頭

(雨天時は、出港式を函館港湾合同庁舎にて実施します。出国手続きの関係上、船内における取材は出来ません。)

出港式の取材については、担当から別途お知らせいたします。

【アジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)とは】

アジア域内において海賊や海上武装強盗に有効に対処するための地域協力を促進するための協定。2004年に採択、2006年に発効。この協定に基づき、情報共有、協力体制構築のため、2006年11月にシンガポールに国際機関としてReCAAP情報共有センターが設立。